

平成 24 年 度

事 業 計 画
並 び に
収 支 予 算 書

多摩川クラブ川崎

財団法人川崎市老人クラブ連合会

目 次

・ 事業計画

I	高齢者をめぐる情勢	1
II	活動方針	1
III	重点項目	2
IV	事業実施計画	2
1	健康づくり・介護予防活動の推進	2
2	会員加入促進（団塊の世代など若手高齢者への積極的な取り組み）	3
3	全国三大運動（健康・友愛・奉仕活動）と全国共通目標の推進	4
4	はつらつとしたクラブづくり	4
5	地域の安全・安心を支える活動の推進	5
6	組織活動の強化に向けた取り組みの推進	5
7	ホームページによる広報活動の一層の強化	6
8	事務局体制の整備・強化	6
9	新公益法人への移行作業の取り組み強化	6
10	受託業務の円滑遂行	6
V	メインテーマと宣言事項の実践	7
	平成24年度 年間計画	8～9

・ 一般会計・事業会計・特別会計収支予算

I	平成24年度 収支予算総括表	10
II	平成24年度 一般会計収支予算書	11
III	平成24年度 事業会計	
(1)	老人福祉電話相談センター運営事業	14
(2)	高齢者パワーアップ推進事業	14
(3)	全国健康福祉祭参加事業	15
(4)	平成24年度老人緊急一時資金貸付事業特別会計	15

平成24年度事業計画

I 高齢者をめぐる情勢

近年、少子高齢化が進み、高齢者人口の増加に伴い、高齢の夫婦世帯や一人暮らしの高齢世帯が増加するなど、高齢者に関わる福祉課題や生活課題が顕在化し、地域社会を支える社会福祉システムの充実が求められています。

こうした本格的な超高齢社会を迎えて、住み慣れた地域の中でいつまでも元気に安心して暮らせる街づくりを推進していくことは私たち高齢者にとっても大きな責務であり役割であると考えます。

川崎市老人クラブ連合会（愛称：多摩川クラブ川崎）は「生活を豊かにする楽しい活動」と「地域を豊かにする社会活動」をその活動の大きな柱として掲げて現在に至っております。「自ら楽しみ、また人とともに楽しむ」がその基本精神であります。

このふたつの活動の上に、全国三大運動＜健康・友愛・奉仕＞の精神をさまざまな形で地域で具現化し実践していくことこそ私たちの活動の要であり、同時に地域再生の活動に通じるものと考えます。

健康づくりは介護予防の一翼を担う取り組みで、その効果は介護保険の膨大な支出に歯止めを掛けます。病弱、ひとり暮らしの方々を支える笑顔の訪問友愛活動、地域の安全・安心活動や環境美化活動などの社会奉仕活動への取り組みは地域住民の信頼と安心を得ております。こうした地道な活動は地域の中で老人クラブの確かな存在感を示すものであり、新たな会員加入にもつながるものと考えます。

平成24年度は厳しい財政状況の中ではありますが、業務の見直しと創意工夫を重ねて、行政、自治会・町内会、社会福祉協議会等地域団体と協働してさらなる活動の推進を目指し、各区・地区老連相互の連携を図りながら、以下の事業を実施してまいります。

II 活動方針

（財）川崎市老人クラブ連合会（以下「市老連」という。）としては、（財）全国老人クラブ連合会（以下「全老連」という。）が事業の重点・活動目標に掲げた次の項目について積極的に取り組むとともに、従来からの市老連の取り組みについては引き続き推進するとともに、更に活動内容を充実させる。

1 全老連

（1）老人クラブ活性化3カ年推進計画の実施

健康づくり・介護予防活動の推進、若手リーダーの養成、活用
一般高齢者への活動参加呼びかけ等

- (2) 高齢者・地域支え合い事業の推進
- (3) 組織活動の強化に向けた取り組みの推進
- (4) 全国運動、全国共通目標の推進
- (5) 制度・政策、高齢者に係る課題等の学習・実践
- (6) 会員の安全対策と連帯意識の高揚

2 市老連

- (1) 健康、友愛及び奉仕活動を積極的に推進
- (2) 会員加入促進を重点目標として取り組む
クラブ未加入の若手高齢者が参加しやすい環境整備、解散クラブの
再復帰、団塊の世代の人々の入会促進及び若手会員の活動促進
- (3) 楽しく元気のある開かれたクラブを目指す
- (4) 家族や仲間、地域に対して優しいクラブを目指す
- (5) 皆が明るく安心して暮らせる地域づくりに貢献する
- (6) 貴重な活動や体験などを記録して未来に残す取り組み
- (7) 新公益法人への移行作業の迅速化・取り組み強化

III 重点項目

- (1) 健康づくり・介護予防活動の推進
- (2) 会員加入促進と団塊の世代など若手高齢者への積極的な取り組み
「シニア研修会」などの準備
- (3) 全国三大運動と全国共通目標の推進
- (4) はつらつとしたクラブづくり
- (5) 地域の安全・安心を支える活動の推進
- (6) 組織活動の強化に向けた取り組みの推進
- (7) ホームページによる広報活動の一層の強化
- (8) 事務局体制の整備・強化
- (9) 新公益法人への移行作業の取り組み強化

IV 事業実施計画

1 健康づくり・介護予防活動の推進

- ・ 「高齢者の世紀」にふさわしい健康観の普及を図り、健康づくりや予防に関する学習と実践を組織的に継続的に行い、「体力測定」により点検や効果測定を取り入れて、自分の体力を知り運動の習慣をつけ、健康づくりにつなげていく。

- (1) 第7次「健康をすすめる運動」(24年度以降延長全老連確認)の推進
 - ・「健康をすすめる運動」のスローガンのもと、「自らの健康は自ら守る」との目標を持って、健康づくりや学習、実践、点検の取り組みを広く展開する。
 - ・仲間とともに継続的に活動に参加し、身体機能を維持して、健康で自立した生活を目指す。
 - ・効率的な推進を図るため、運動等のメニューの検証、シニアスポーツリーダーの活用、組織的な取り組み
 - ・健康づくり・介護予防(閉じこもり予防、情報提供、支援活動の推進)の輪を広げる。
 - ・健康づくり・介護予防活動の組織的な取り組み(健康づくりリーダーの活用と養成)の展開
- (2) 区老連が行う健康づくり事業の取組みの強化
- (3) 前記事業を支援するための市老連の「健康づくり支援事業」の推進
 - ・川崎市介護予防いきいき大作戦への組織的な取り組み
- (4) 高齢者の体力測定の実施と普及のためのリーダーの活用
- (5) ゲートボール大会及びグラウンドゴルフ大会の開催
- (6) 夏の盆踊り大会及び(仮称)グラウンドゴルフとふれあいの旅行の開催
- (7) 健康ウォーキングの推進
- (8) 「いきいきクラブ体操」「介護予防かわさき体操」の普及と実践
- (9) 全国健康福祉祭(ねんりんピック)への参加

2 会員加入促進(団塊の世代など若手高齢者への積極的な取組み)

- ・健康で生きがいのある生活を多くの高齢者が享受できるよう、本年も「誰もが・気楽に・無理せず・楽しく・参加できる」クラブ活動を展開するとともに、「会員一人ひとりが、一人の新しい仲間づくり」を目指す。また、「団塊の世代」が高齢期に達したなかで、若年会層の加入促進と活動範囲拡大策の強化にも目を向けた活動を展開していく。

(1) 会員加入促進強化運動の実施

老人クラブへの加入の動機が「勧誘」されて会員になった人が多い結果を踏まえ、年間を通じて加入促進を図っていくが、特に、9月から11月までを「会員加入促進強化運動期間」と定め、町内会などの地域団体の協力・支援を得ながら、積極的かつ継続的に加入を呼びかけたい。

(2) 「団塊の世代」に対応した柔軟な組織運営

あらゆる機会を通じて加入を呼びかける一方、この世代から新しい

活動スタイルが生まれるよう、側面から支援し、柔軟な運営・活動への理解に努めていく。

(3) シニアリーダー養成事業

生きがいを求める学習意欲の高い若手高齢者などの学習の場を提供しながら、次世代のリーダーを養成するとともに、若手高齢者への参加のきっかけづくりとしたい。

3 全国三大運動（健康・友愛・奉仕活動）と全国共通目標の推進

高齢社会・地域社会を支える担い手として、主体的・組織的に健康・友愛・奉仕の全国三大運動及び全国共通目標の推進に取り組む。

(1) 全国三大運動「健康・友愛・奉仕」活動の点検と新たな活動推進

【社会奉仕活動の推進】

- ① 「老人の日・老人週間」を中心にして全国的に展開される「社会奉仕活動」に積極的に取り組む。
- ② 多摩川クリーン活動事業の実施
- ③ スローガンは「きれいな地球を子どもたちへ」
- ④ 市内統一美化運動への積極的参加

【在宅福祉を支える友愛活動の強化充実】

- ① 1クラブ1友愛チームづくりを目標に、会員の全員参加による友愛活動の計画的な推進
- ② 地域の関係団体等との連携を密に友愛活動の強化充実を図る。
- ③ 友愛活動代表者及び活動員の研修会の開催
- ④ 「笑顔であいさつ一声運動」の推進
- ⑤ リーダー養成・組織化と友愛活動（訪問・サロン・情報提供）推進
- ⑥ 川崎市老人クラブ友愛チーム活動事業実施要綱の見直しを図る。

【クラブ組織・運営等の強化及び調査・研究】

全国共通目標「老人クラブ21世紀プラン」の継承と活動提案「単位クラブ21」の推進を図りながら、魅力あるクラブ活動・組織の強化を図る。

- (2) 「老人の日・老人週間」（9月15日～21日）での組織活動の推進
- (3) 活動提案〈単位クラブ21,老人クラブ21世紀プラン〉の継続推進
- (4) 全老連の「活動賞」の内、ボランティア部門の新設に伴い優良活動事例の発掘・紹介

4 はつらつとしたクラブづくり

地域に密着した活力ある「はつらつとしたクラブづくり」を推進する。

- (1) 生活を豊かにするクラブ活動（生きがいづくり）の推進

- ①「老人の日」記念事業として、老人福祉大会・老人クラブ大会を川崎市と共催する。
- ②「老人の日」記念事業として各区老連主催の「趣味の作品展」の開催
- ③区老連主催の演芸大会・発表会を開催
- ④子育てを幅広く支援するため、環境づくりを目指して「昔あそび」や伝承芸能を媒体にして、次世代育成支援活動を推進する。
- ⑤自然に、楽しく、さらにクラブ活動のネットワークづくりを目指して、パソコンを活用して仲間づくりを推進する。
- (2) 全国老人クラブ大会（東京都で開催）に参加
- (3) 全老連主催の各種リーダー研修会に参加
- (4) 女性部大会の開催
- (5) 機関誌「川崎市老連」の発行及びホームページの発信に伴い広報活動を充実し、老人クラブの活動に対する理解の促進を図る。
- (6) 区老連会報の継続的発行の支援、積極的な情報提供
- (7) 町内会などの地域諸団体との連携強化
- (8) 全国健康福祉祭（宮城県で開催）に参加
- (9) 関東甲信越静ブロック連絡協議会事務局長会議の開催（当番市）
- (10) 制度・政策などの学習・実践、提案活動

5 地域の安全・安心を支える活動の推進

近年、急激な高齢化や地域の人々の絆が希薄化したことにより、新たな地域課題が出現している。

例えば、虚弱高齢者の支援、認知症高齢者への理解や見守り、高齢者の孤独死や虐待の防止、登下校時の見守りパトロール活動の推進、消費者被害防止、バリアフリー化の推進、災害緊急時に対する備えを整えていく必要がある。

住み慣れた地域で安全・安心に暮らすために、地域の人が支え合う互助（共助）の重要性が指摘されている。

老人クラブでは、「自分達のまちは自分達で守る」という意識を持ち、これらの課題に大きな力を発揮しようとしているが、更に会員などのネットワークを生かした活動を通じて高齢者等の暮らしを守る取り組みを強化したい。

- ・在宅福祉を支える友愛活動の展開

6 組織活動の強化に向けた取り組みの推進

- (1) クラブリーダーの育成
 - ①区老連別に、単位クラブリーダー研修会の実施・支援

- ②新任会長及び新任友愛チーム代表者研修会の開催
- ③区老連リーダー・女性リーダーの研修会の実施
- (2) 若手リーダー養成（各種研修会,大会参加）運営・活動への参画、役員登用の促進
- (3) 解散（休会・休眠）クラブ防止と支援体制の強化
区老連とともに、解散クラブの実態を把握し、その防止策を講じ、更に、休会・休眠クラブ等への支援に努める。

7 ホームページによる広報活動の一層の強化

平成 21 年度に稼働したホームページにより、情報発信の機能が強化され、開かれた市老連活動が発信できた。特に、年 2 回のみ発行してきた広報誌「川崎市老連」の補完機能として、更に地域の会員が望む区・地区老連の情報も今後提供することが可能となり、更にクラブ未加入の高齢者にも活動内容が発信できることにより、クラブへの参加のきっかけとして期待される。（仮称）広報連絡員の設置

8 事務局体制の整備・強化

高齢者の考え方や価値観の多様化などにより、会員数が減少し抜本対策が迫られている今日、事務局に求められている機能は、組織内外に対する情報提供、区老連レベルに対する実地指導・助言、事業に関する新たな企画立案、調査研究、積極的な広報活動、関係機関・団体との連携などの実務であるが、その期待に応えられていないのが実情である。21 世紀をみすえた「新しい老人クラブづくり」を推進するため、事務局体制の整備・強化に努める。

- (1) 区老連事務局の設置と人員の確保
- (2) 市老連と区老連の連携強化
- (3) 活動推進員・事務局員の資質向上
- (4) 各種研修会への職員参加
- (5) 財源の確保に向けた取組みの強化

9 新公益法人への移行作業の取り組み強化

平成 25 年 11 月までに新法人に移行できるよう、情報収集を強化し、機関設計及び財務会計の整理を行い、年度内には申請書提出予定。

10 受託業務の円滑遂行

- (1) 老人福祉電話相談センター運営事業(昭和 54 年 12 月 1 日～)
(事業内容)

在宅でひとり暮らしの高齢者に対して、相談員が安否の確認、各種相談のサービスを提供することにより、住み慣れた地域で安心して暮らし続

けられるよう支援を図ることを目的とする。

①老人福祉電話の設置に関すること

②安否の確認、各種相談のサービスの提供に関すること。

(2) 高齢者パワーアップ推進事業(平成 21 年 4 月 1 日～)

(事業内容)

高齢者がいつまでも元気でいきいきと活躍するための「生きがいづくり」の支援の一環として、シニア向け情報誌「楽笑」の発行や老人クラブのホームページの作成を通じて情報発信の機能強化を図る

V メインテーマと宣言事項の実践

全老連のメインテーマと宣言事項の実践

(1) メインテーマ

創造と連帯の輪を広げて一心豊かな 21 世紀を (平成 4 年～現在)

(創造) 健康な高齢者像の創造

新たな高齢者文化の創造

夢を語り合う地域社会の創造

(連帯) 歴史と体験を共有する高齢者相互の連帯

老壮青少幼すべての世代との交流・連帯

孤独・障害・病弱な仲間たちとの友愛・連帯

尊厳と公平を尊重する男女共同参画社会に向けての連帯

21 世紀が、「ゆとり」と「うるおい」と「やすらぎ」に満ちた、
心豊かな社会となるように、創造と連帯の輪を広げよう！

(2) 宣言事項の実践

健康づくり・介護予防活動の地域への普及・拡大

若手高齢者、女性会員の活力を生かした活動の展開

地域支えあい活動による住民共助の取組みの推進

知恵と経験を生かした環境にやさしい活動の推進

安心と信頼できる社会保障制度に向けた学習と提案・提言

	市老連会議	市老連行事	全老連	関東ブロック老連
4月	ゲートボール委員会(10日) グラウンドゴルフ委員会(13日) 会報編集委員会(18日) 女性委員会(26日)	夏の盆踊り・下見会 (岩手県花巻温泉:5日~6日)	新任事務局長・職員研修会 (東京全社協:20日)	事務局長会議 (東京:19日)
5月	監査委員会(9日) 常任理事会(14日)※新任会長研修会の後 友愛チーム委員会(21日) 評議員会(25日) 理事会(30日)	GB大会兼選抜 (富士見公園市民広場:8日予備日15日) GG大会兼選抜 (富士見公園市民広場:11日予備日18日) 新任会長研修会 (エポックなかはら:14日) 全国健康福祉祭下見 (宮城・仙台:16日~17日)	監事会(東京全社協:16日) 女性委員会総会(東京全社協:22日) 理事会・評議員会(東京全社協:31日)	会長・事務局長会議・監事会 (東京全社協:17日)
6月	旅行委員会(1日) 会報校正委員会(6日) 常任理事会(12日)※新任友愛チーム代表者研修会の後 ゲートボール委員会(15日) 会員増強推進委員会(25日) 健康づくり(ダンス等)委員会(28日)	(仮称)グラウンドゴルフと伊勢・鳥羽の旅下見 (三重県鳥羽温泉:7日~8日) 新任友愛チーム代表者研修会 (エポックなかはら:12日)	中央セミナー(東京全社協:7日~8日) 事務局長会議(東京全社協:21日~22日)	リーダー研修会:茨城県(茨城県内:19日~20日)
7月	常任理事会(13日) 旅行委員会(20日)	夏の盆踊り (岩手県花巻温泉:4日~6日)	理事会(東京全社協:31日)	関東ブロック連絡協議会活動推進員研修会 (5日~6日:当番千葉県・千葉市)
8月	女性委員会(3日:作業)			女性リーダー研修会:東京都内(31日)
9月	常任理事会(14日) グラウンドゴルフ委員会(19日)	老人福祉・老人クラブ大会 (エポックなかはら:7日) 老人の日及び老人週間 (15日~21日) 全国一斉「社会奉仕の日」(20日) (仮称)グラウンドゴルフと伊勢・鳥羽の旅 (三重県鳥羽温泉:26日~28日)	全国一斉「社会奉仕の日」(20日)	
10月	会報編集委員会(2日) 常任理事会(19日) 女性委員会(23日) 健康づくり(ダンス等)委員会(30日)	多摩川クリーン活動事業(9日、予備日:18日) 第25回全国健康福祉祭 (宮城・仙台前泊:12日~16日)	50周年記念全国老人クラブ大会 (東京・日比谷公会堂:4日) 第25回全国健康福祉祭 (宮城・仙台:13日~16日)	連絡協議会:新潟県 (新潟県・寺泊:25日~26日)
11月	旅行委員会(6日) 友愛チーム委員会(13日) 常任理事会(20日)※市老連ダンス祭りの後 会報校正委員会(21日)	第23回市老連ダンス祭り(20日) 女性部大会(27日)	第24回女性リーダーセミナー及び女性委員会総会(東京全社協:8日~9日)	事務局長会議:当番川崎市 (川崎市・川崎日航ホテル:15日~16日)
12月	グラウンドゴルフ委員会(4日) ゲートボール委員会(13日) 常任理事会(14日)	友愛慰問品各区配送 (予定:1日~7日)	都道府県・指定都市老連会長会議 (東京全社協:6日~7日)	
1月		リーダー及び女性リーダー研修会 (予定:1/31日~2/1日)	第18回友愛セミナー全国交流集会 (東京:17日~18日) 第10回健康づくり中央セミナー (ロフォス湘南:23日~25日)	
2月	常任理事会(15日) 会員増強推進委員会(22日)		都道府県・指定都市老連事務局長会議 (東京全社協:13日)	
3月	基本財産等管理運営委員会(8日) 常任理事会(8日) 評議員会(15日) 理事会(22日)		理事会・評議員会(東京全社協:26日)	

平成24年度 収支予算 総括表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	合 計	一 般 会 計	事 業 会 計	特別会計
1 収入の部				
基本財産運用収入	1	1	0	0
基金運用財産収入	200	200	0	0
納付金	3,872	3,872	0	0
補助金収入	34,148	34,148	0	0
受託事業収入	35,804	8,233	27,571	0
貸付返還金収入	120	0	0	120
雑収入	964	963	0	1
特定預金取崩収入	302	2	0	300
当期収入合計 (A)	75,411	47,419	27,571	421
前期繰越収支差額	2,192	2,100	0	92
収入合計 (B)	77,603	49,519	27,571	513
2 支出の部				
運営費	31,842	17,076	14,653	113
事業費	43,827	30,609	12,918	300
補助金	1,263	1,263	0	0
繰入金支出	1	1	0	0
特定預金支出	170	70	0	100
予備費	500	500	0	0
当期支出合計 (C)	77,603	49,519	27,571	513
当期収支差額 (A) - (C)	△ 2,192	△ 2,100	0	△ 92
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0	0

平成24年度一般会計収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

1. 一般会計（収入の部）

(単位：千円)

科 目	本年度予 算額	前年度 予算額	増△減	摘 要
款 項				
1. 基本財産運用収入	1	1	0	
1. 基本財産利息収入	1	1	0	
2. 基金運用財産収入	200	200	0	
1. 基金財産利息収入	200	200	0	
3. 納付金	3,872	3,888	△ 16	8000円×484クラブ
1. 納付金	3,872	3,888	△ 16	
4. 補助金収入	34,148	34,696	△ 548	
1. 市補助金収入	33,698	34,196	△ 498	事務局運営費（人件費：4名分） 9,104 区老連活動促進費 2,160 市区老連活動促進費 2,526 指導者研修会費 146 健康を進める運動普及費 360 趣味の作品展等開催費 162 友愛チーム活動費 17,640 友愛チーム研究協議会費 200 仮称老人大学 300 老人クラブ大会 900 関東甲信越静プロ事務局長会議（当番市） 200
2. その他補助金収入	450	500	△ 50	共同募金配分金 450
5. 受託事業収入	8,233	8,272	△ 39	全老連委託費
1. 市受託事業収入	8,233	8,233	0	女性・リターン育成費 189 社会活動奉仕費 123 ゲートボール奨励金 851 生きがいと健康を進める運動 2,100 生きがいと健康づくり普及・啓発委託料 1,000 生きがいと健康づくり支援事業委託料 1,000 老人スポーツ大会委託料 2,070 老人健康促進事業委託 900
2. 全老連受託事業収入		39	△ 39	指導者研修委託
6. 雑収入	963	1,024	△ 61	
1. 受取利息	1	1	0	預金利子
2. 協賛金（賛助会費）	240	256	△ 16	雑入
3. 寄付金	0	5	△ 5	
4. 広告宣伝費	720	760	△ 40	全老連保険広告料
5. 抛金収入	2	2	0	
7. 特定預金取崩収入	2	2	0	
1. 退職給与引当預金取崩収入	1	1	0	
2. 抛金引当預金取崩収入	1	1	0	
当期収入合計（A）	47,419	48,083	△ 664	
前期繰越収支差額	2,100	2,000	100	
収入合計（B）	49,519	50,083	△ 564	

平成24年度 一般会計収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

2. 一般会計（支出の部）

(単位：千円)

科	目	本	前	増	減	適	用
款	項	年	年	△	△	用	用
予	予	度	度	減	減	用	用
算	算	額	額	額	額	額	額
1. 運 営 費		17,076	17,017		59		
	1. 会 議 費	228	192		36	理事会・常任理事会・評議委員会・ 三者協会議・その他	178 50
	2. 報 酬 費	399	399		0	外部監事報酬・新公益法人指導報酬	399
	3. 給 料 手 当	11,487	11,976	△	489	事務局職員4名給料、通勤手当	11,487
	4. 退 職 金	1	1		0		1
	5. 臨 時 雇 賃 金	128	128		0		128
	6. 福 利 厚 生 費	1,779	1,910	△	131	社会保険・雇用保険等事業主負担分 職員福利厚生費	1,779
	7. 旅 費 交 通 費	322	322		0	役員旅費 職員旅費	61 261
	8. 備 品 費	200	200		0	備品	200
	9. 需 用 費	461	298		163	事務用品、消耗品等	461
	10. 役 務 費	539	466		73	電話料、切手、事務機器リース料等	539
	11. 負 担 金	1,096	690		406	全老連分担金 全老連予算対策事業特別負担金 全老連会長会議負担金 全老連事務局長会議 全老連事務局長負担金 関東ブロック会議負担金 関東ブロック会長会議負担金 関東ブロック事務局長会議(当番市) 指定都市事務局長会議負担金 三田市協議会負担金 市社協会費 その他負担金	369 43 36 36 12 36 18 438 25 33 10 40
	12. 印 刷 製 本 費	254	253		1	事業計画・予算決算印刷・他	254
	13. 慶弔費(渉外費)	151	151		0	役員・他区市	151
	14. 雑 費	30	30		0	登記料・筆耕料等	30
	15. 抛 金 支 出 費	1	1		0		
2. 事 業 費		30,609	31,084	△	475		
	1. 推 進 活 動 費	2,138	2,138		0	区老連活動促進費 健康を進める運動補助金 区老連女性部活動費 活動経費 仮称「シニア研修会」	549 360 189 40 1,000
	2. 講 習 研 修 費	597	572		25	全老連中央セミナー 関東ブロック研修会(茨城県)他研修会 新任会長、女性研修会、他研修会	25 166 406
	3. 老人福祉大会・ 老人クラブ大会開催	1,000	1,000		0	会場使用料・演芸等・写真代他	1,000
	4. 広 報 活 動 費	352	352		0	会報発行、委員会等	352
	5. 社 会 活 動 奉 仕 費	123	123		0	区老連奉仕活動補助、 奉仕活動保険料等	108 15

2. 支出の部 (その2)

(単位：千円)

科	目	本年度 予算	前年度 予算	増 △ 減	適 用
款	項				
	6. 友愛チーム活動費	17,934	18,428	△ 494	友愛チーム活動助成金 17,640 新任友愛チーム代表者研修費 40 区別友愛活動研修会 140 友愛活動委員会 31 全国交流集会参加費 73 その他経費 10
	7. 諸大会参加費	381	387	△ 6	全国老人大会(東京:日比谷公会堂) 261 関ブロ連絡協議会(新潟県:寺泊) 110 その他 10
	8. スポーツ大会費	2,070	2,070	0	区老連スポーツ大会委託費 2,070
	9. ゲートボール奨励及び大会費	851	851	0	区老連ゲートボール開催委託費 630 市老連ゲートボール大会費 120 委員会開催費等 101
	10. 生きがいと健康づくり	4,100	4,100	0	スポーツ普及促進委託費 900 グラウンドゴルフ選抜大会費 160 グラウンドゴルフフェスティバル開催費 80 区老連演芸大会費 270 盆踊り大会開催経費 112 健康づくり事業区老連委託費 1,000 市老連健康づくり支援事業 1,000 女性委員会・その他委員会 107 事業事務経費 471
	11. 作品展開催費	162	162	0	区老連作品展開催費補助 162
	12. 調査研究費	1	1	0	1
	13. 老人健康促進事業費	900	900	0	老人健康促進事業委託 540 市老連ダンスまつり事業他 312 開催費 48
3.	補助金	1,263	1,281	△ 18	1,263
	1. 補助金	1,263	1,281	△ 18	区老連活動促進費補助
4.	特定預金支出	70	200	△ 130	
	1. 退職給与引当預金支出	69	200	△ 131	職員積立金 69
	2. 拠金引当預金支出	1	0	1	拠金積立金 1
5.	繰入金支出	1	1	0	
	1. 繰入金支出	1	1	0	基本財産への繰入金、積立金 1
6.	積立金出支	0	0	0	
	1. 積立金支出	0	0	0	
7	予備費	500	500	0	
	1. 予備費	500	500	0	500
当期支出合計 (C)		49,519	50,083	△ 564	
当期収支差額 (A) - (C)		△2,100	△2,000	100	
次期繰越収支差額 (B) - (C)		0	0	0	

平成24年度 老人福祉電話相談センター運営事業会計 収支予算書

収入の部

(単位：千円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	増△減	摘 要
款	項				
1	受託事業収入	17,639	18,035	△ 396	
	1 老人福祉電話相談センター運営事業	12,170	12,170	0	川崎市受託事業
	2 福祉電話貸与設置事業	5,469	5,865	△ 396	同 上
収 入 合 計		17,639	18,035	△ 396	

支出の部

(単位：千円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	増△減	摘 要
款	項				
1	運営費	12,170	12,170	0	
	1 給料手当	8,360	8,360	0	相談員5名
	2 交通費	676	676	0	
	3 福利厚生費	1,409	1,409	0	社保・雇用保険・健診事業 主負担等
	4 事務費	1,725	1,725	0	電話料、事務用品等
2	事業費	5,469	5,865	△ 396	福祉電話貸与設置及び基本 料金
支 出 合 計		17,639	18,035	△ 396	

平成24年度 高齢者パワーアップ推進事業会計 収支予算書

収入の部

(単位：千円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	増△減	摘 要
款	項				
1	受託事業収入	4,302	4,375	△ 73	川崎市受託事業
収 入 合 計		4,302	4,375	△ 73	

支出の部

(単位：千円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	増△減	摘 要
款	項				
1	運営費	2,483	2,483	0	
	1 給料手当	2,040	2,040	0	職員1名
	2 交通費	116	116	0	
	3 福利厚生費	327	327	0	社会保険料事業主負担分
2	事業費	1,819	1,892	△ 73	(消費税204含む)
支 出 合 計		4,302	4,375	△ 73	

平成24年度 全国健康福祉祭選手派遣事業会計 収支予算書

収入の部

(単位：千円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	増△減	摘 要
款	項				
1	受託事業収入	5,630	9,194	△ 3,564	川崎市受託事業
収 入 合 計		5,630	9,194	△ 3,564	

支出の部

(単位：千円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	増△減	摘 要
款	項				
1	事業費	5,630	9,194	△ 3,564	宮城県：仙台市内
支 出 合 計		5,630	9,194	△ 3,564	

平成24年度 老人緊急一時資金貸付事業特別会計 収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収入の部

(単位：千円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	増△減	摘 要
款	項				
1	貸付返還金収入	120	100	20	
	1 貸付返還金収入	120	100	20	貸付返還金
2	雑収入	1	1	0	
	1 受取収入	1	1	0	預金利子
3	特定預金取崩収入	300	300	0	
	1 貸付引当預金取崩収入	300	300	0	
当 期 収 入 合 計(A)		421	401	20	
前期繰越収支差額		92	92	0	
収 入 合 計 (B)		513	493	20	

支出の部

(単位：千円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	増△減	摘 要
款	項				
1	運営費	113	93	20	
	1 事務費	113	93	20	切手等事務費
2	事業費	300	300	0	
	1 貸出金	300	300	0	貸付金(10名)
3	特定預金支出	100	100	0	
	1 貸付引当預金支出	100	100	0	
当 期 支 出 合 計 (C)		513	493	20	
当期収支差額 (A - C)		△ 92	△ 92	0	
次期繰越収支差額 (B - C)		0	0		